

日本大学経済学部産業経営研究所 公開研究会(オンライン講演会)

第307回

講演テーマ

「オムロンにおける SDGsと統合報告の取組について」

オムロン株式会社 執行役員

グローバルインベスター&ブランドコミュニケーション本部長
兼 サステナビリティ推進担当

井 垣 勉 氏

日 時:2021年12月13日(月)18:00~19:30

開催方式: オンライン方式(Zoom)

■推薦者の言葉■

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals, SDGs)は、2015年に国連総会において全会一致で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のためのアジェンダ」の中核となる世界的な優先課題および世界のあるべき姿として提唱され、17の目標と169項目のターゲットおよび230項目の指標により構成される。SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指すものである。「SDGs元年」とも称された2016年から今日に至るまで、その認知度も徐々に高まっている。とりわけ民間企業のSDGsへの積極的な貢献が求められており、SDGsを企業のビジネスモデルや経営戦略に組み込んでいく発想の転換が必要とされる。

オムロン株式会社は、企業理念を基盤として、SDGsと関連した幅広い社会的課題の解決を「サステナビリティ経営」を通じて具現化している。また、企業価値創造のストーリーをわかりやすく説明した「統合報告書」(Integrated Report)についても、運用機関等から「優れた統合報告書」として非常に高い評価を得ている。日本企業のフロントランナーとしてその取り組みは絶えず注目されているところである。

今年度の公開研究会において講師としてお招きした井垣 勉氏はオムロン株式会社の執行役員であり、グループ全体で132社の広報・IR・ブランド戦略を中心とするコミュニケーション活動の統括ならびにサステナビリティ推進をご担当されている。オムロン株式会社のSDGsとマルチステークホルダーをターゲットとした統合報告とを結び付けた先進的かつ体系的な取り組みに係るご講演を通じて、グローバル企業の経営の在り方について多くを学ばせて頂きたい。

(経済学部教授 古庄 修)

対象:教職員・学生

本講演聴講ご希望の方は事前登録が必要です。

未登録の方は、聴講できません。

なお、登録手続きは、**2021年12月13日(月) 正午まで**といたします。

教職員・学生以外の参加につきましては、教職員からの紹介者のみといたします。

主催:日本大学経済学部 産業経営研究所 問合せ:日本大学経済学部 研究事務課Tel: 03-3219-3309